

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2016年2月17日

No.9

2016JR総連春闘 闘争開始！！

ベースアップ76,000円要求！

回答指定日3月18日(金)

～ 「2016年度新賃金要求の申し入れ（申第6号）」第1回交渉報告 ～

中央本部は、本日10時より「2016年度新賃金要求の申し入れ（申第6号）」とあわせて「諸要求改善に向けた申し入れ（申第7号）」を会社に提出しました。

申し入れにあたって中央本部は、①来年度は「中期経営計画2016」の最終年度であり、鉄道事業部門の赤字をゼロにすることは容易ではない。コスト削減での実現は許さない。②鉄道事業部門の黒字を実現するために今後の努力のためにも人への投資として16年連続ベアゼロを解消し、黒字の還元を実施すべきである。③技術力のある若年社員の退職が相次いで発生し、2年間新規採用停止によって新たな人材確保も厳しい状態である。④以上のことを踏まえて、2016年度の新賃金は定期昇給4号俸を前提として基本賃金一律6,000円の賃上げ要求、人材確保のための初任給引き上げ及び社員間・業種間の格差是正を要求する。⑤諸要求改善については、諸制度の改善、契約・臨時社員の労働条件の改善、職場環境改善の内容を申し入れる。回答指定日は3月18日とするので誠意ある回答を示すことを主張しました。

これに対して会社は、①日頃安全に関することや収入達成に向け貨物労組組合員が協力していることに感謝申し上げる。②「中期経営計画2016」最終年度を迎え鉄道事業部門の黒字化に向けて、来年度事業計画を策定中である。③提出された要求項目について回答指定日に向けて真摯に交渉を重ねていきたいと見解を明らかにしました。

これに対して中央本部は、今春闘交渉に臨むにあたって①JR貨物がJRグループの中で基準内賃金が一番低い。この間手当等見直し施策では血も流し判断してきた。来年度鉄道事業部門の黒字化を実現していくためにもベアを実現すべきである。②若年退職の歯止め策として、初任給引き上げなければ優秀な人材を確保できない。若年退職に対しても現場長や支社幹部が止めない風潮があり、社員が頑張ろうという気概を持ってない。③経営陣は社員に血まで流して頑張れと言うならば、経営陣が痛みを負ってでもベアの原資をつけるべきである。④2年間新規採用を停止させた人件費相当分の原資をベアとして還元することを突き付け第1回交渉を終了しました。

組合員の皆さん。2016JR総連春闘がスタートしました。今次春闘では、ベアを勝ち取るために労使交渉と職場からの闘いを結合させ一体となった取り組みをつくり出していきます。中央本部は、その最先頭で闘うことを明らかにして、第1回交渉報告とします。

次回、第2回交渉は2月25日(木)です。

以上